

(様式2の1)

認知症介護基礎研修カリキュラム

申請者名		講義・演習 時間合計	時間 (分)
------	--	---------------	---------

国標準カリキュラム
自習3時間(180分)

国標準カリキュラム				申請法人カリキュラム		
教科名	内 容	区分	時間	内 容	時間	区分
認知症の人と理解 と対応の基本	・認知症の人を取り巻く現状 ・具体的なケアを提供する時の判断基準となる考え方 ・認知症の人を理解するために必要な基礎的知識 ・認知症ケアの基礎的技術に関する知識と実施上の留意点	自学習 (eラー ニング)	150分 程度			

※1 教科名は国標準カリキュラムと同一とすること

※2 各教科について、国標準カリキュラムと同等以上の講義・演習時間を確保すること。

なお、「内容」、「時間」、「区分」については、国標準カリキュラムと同一の内容で行う際には「同左」で差し支えない。

※3 独自教科を設定する場合は適宜記入すること。

(様式2の2)

認知症介護実践研修(実践者研修)カリキュラム

申請者名	講義・演習 時間合計	時間 (分)
	実習期間	

国標準カリキュラム

講義・演習24時間(1,440分) 実習:課題設定240分、職場実習4週間、実習のまとめ180分

国標準カリキュラム				申請法人カリキュラム			
教科名	内容	区分	時間	内容	時間	区分	
1 認知症ケアの基本							
(1)認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	・認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 ・認知症に関する基本的知識 ・認知症ケアの倫理 ・認知症の人の意思決定支援 ・自己課題の設定	講義 演習	180分				
(2)生活支援のためのケアの演習1	・生活支援のためのケア ・認知症の生活障害 ・認知症の人の生活環境づくり ・中核症状の理解に基づくコミュニケーション ・生活場面ごとの生活障害の理解とケア	講義 演習	300分				
(3) QOLを高める活動と評価の観点	・アクティビティの基礎的知識と展開 ・心理療法やアクティビティの評価方法	講義 演習	60分				
(4) 家族介護者の理解と支援方法	・家族介護者の理解 ・家族介護者の心理 ・家族介護者の支援方法	講義 演習	90分				
(5) 権利擁護の視点に基づく支援	・権利擁護の基本的知識 ・権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 ・権利擁護のための具体的な取り組み	講義 演習	90分				
(6)地域資源の理解とケアへの活用	・認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 ・インフォーマルな地域資源活用 ・フォーマルな地域資源活用 ・地域資源としての介護保険施設・事業所等	講義 演習	120分				
2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践							
(1) 学習成果の実践展開と共有	・認知症の人本人の声を聴く(自施設・事業所における実践) ・事例収集(自施設・事業所における実践) ・中間課題の発表と共有	講義 演習	60分				
(2) 生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状)	・行動・心理症状(BPSD)の基本的理解 ・行動・心理症状(BPSD)の発症要因とケアの検討(事例演習) ・行動・心理症状(BPSD)の評価 ・生活の質の評価	講義 演習	240分				
(3) アセスメントとケアの実践の基本	・認知症の人のアセスメントの基礎的知識 ・観察の方法とポイント ・アセスメントの実践(事例演習) ・実践計画作成の基礎的知識 ・実践計画作成の展開(事例演習) ・実践計画の評価とカンファレンス	講義 演習	300分				
3 実習							
(1)職場実習の課題設定	・職場実習のねらい ・対象者選定 ・課題設定 ・4週間の行動計画の作成	講義 演習	240分				
(2) 職場実習(アセスメントとケアの実践)	・実習の準備 ・実習の開始 ・報告準備	実習	4週間				
(3) 職場実習評価	・職場実習報告 ・ケア実践計画の評価 ・職場への報告と展開	講義 演習	180分				

※1 教科名は国標準カリキュラムと同一とすること

※2 各教科について、国標準カリキュラムと同等以上の講義・演習時間を確保すること。

なお、「内容」、「時間」、「区分」については、国標準カリキュラムと同一の内容で行う際には「同左」で差し支えない。

※3 独自教科を設定する場合は適宜記入すること。

(様式2の3)

認知症介護実践研修(実践リーダー研修)カリキュラム

申請者名	講義・演習 時間合計	時間 (分)
	実習期間	

国標準カリキュラム

講義・演習31時間(1,860分) 実習:課題設定240分、職場実習4週間、実習のまとめ420分

国標準カリキュラム				申請法人カリキュラム		
教科名	内容	区分	時間	内容	時間	区分
1 認知症介護実践リーダー研修総論						
(1)認知症介護実践リーダー研修の理解	・実践リーダーの役割 ・実践リーダー研修の概要 ・実践リーダーとしての課題の明確化	講義 演習	90分			
2 認知症の専門知識						
(1)認知症の専門的理解	・認知症に関する理解 ・原因疾患別の捉え方のポイント ・医学的視点に基づいた介入 ・認知症を取りまく社会的課題	講義 演習	120分			
(2)施策の動向と地域展開	・認知症施策の変遷 ・認知症施策の動向と認知症施策推進大綱の内容 ・地域における認知症ケア関連施策の展開	講義 演習	210分			
3 認知症ケアにおけるチームケアとマネジメント						
(1)チームケアを構築するリーダーの役割	・チームの意味や目的、種類 ・チームの構築及び活性化するための運用方法 ・チームの目標や方針の設定と展開方法	講義 演習	180分			
(2)ストレスマネジメントの理論と方法	・チームにおけるストレスマネジメントの意義と必要性 ・ストレスマネジメントの方法	講義 演習	120分			
(3)ケアカンファレンスの技法と実践	・チームケアにおけるケアカンファレンスの目的と意義 ・ケアカンファレンスを円滑に行うためのコミュニケーション ・効果的なケアカンファレンスの展開	講義 演習	120分			
(4)認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法	・認知症ケアにおけるチームアプローチの意義と必要性(まとめ) ・認知症ケアにおけるチームの種類と特徴 ・施設・在宅での認知症ケアにおけるチームアプローチの方法	講義 演習	180分			

4 認知症ケアの指導方法						
(1) 職場内教育の基本視点	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成における介護職員等のとらえ方 ・指導者のあり方の理解 ・人材育成の意義と方法 ・職場内教育の意義 ・職場内教育(OJT)の実践方法 	講義 演習	240分			
(2) 職場内教育(OJT)の方法の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内教育(OJT)における指導技法 ・指導における活用と留意点 	講義 演習	240分			
(3) 職場内教育(OJT)の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・入浴・排泄等への介護に関する指導計画(事例演習) ・行動・心理症状(BPSD)への介護に関する指導(事例演習) ・アセスメント及びケアの実践に関する計画立案の指導方法(事例演習) ・自己の指導の特徴の振り返り 	講義 演習	360分			
5 認知症ケア指導実習						
(1) 職場実習の課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員等の認知症ケアの能力に関する評価方法の理解 ・介護職員等の認知症ケアの能力の評価方法の立案 ・実習計画の立案 	講義 演習	240分			
(2) 職場実習	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア能力の評価と課題の設定・合意 ・指導目標の立案方法の理解 ・指導目標に応じた指導計画の作成 ・指導計画に応じた指導の実施 	実習	4週間			
(3) 結果報告	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア指導の実践方法に関する自己の課題の整理と考察 ・認知症ケア指導に関する方向性の明確化 	講義 演習	420分			
(4) 職場実習評価						

※1 教科名は国標準カリキュラムと同一とすること

※2 各教科について、国標準カリキュラムと同等以上の講義・演習時間を確保すること。

なお、「内容」、「時間」、「区分」については、国標準カリキュラムと同一の内容で行う際には「同左」で差し支えない。

※3 独自教科を設定する場合は適宜記入すること。